

## 会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町介護保険運営協議会  
富士川町地域包括支援センター運営協議会  
(合同会議)
- 2 会議日時 平成29年8月21日(月)午後7時30分から午後8時30分
- 3 開催場所 保健福祉支援センター 1階保健指導室
- 4 出席者 委員13名(欠席者2名) 事務局関係者8名 傍聴者0名
- 5 議題 地域包括支援センター事業状況報告及び事業計画について  
第7期介護保険事業計画について

### 6 運営協議会内容

- ① 開会
- ② 会長あいさつ
- ③ 議事  
(1) 地域包括支援センター事業状況報告及び事業計画について  
(2) 第7期介護保険事業計画について
- ④ その他
- ⑤ 閉会

### 7 発言の内容

会長あいさつ

#### 議事

- (1) 地域包括支援センター事業状況報告及び事業計画について  
事務局より説明

< (1) についての質疑応答 >  
質疑なし

- (2) 第7期介護保険事業計画について  
事務局より説明

< (2) についての質疑応答 >

委員：アンケート結果を見ると、歯の健康に対する住民の意識が低い。事業計画を見ると、口腔機能向上教室をせっかく実施しているのに、この辺りの意識が

低いことに関してどのような対応を考えているのか。

事務局：昨年、二次予防ということでより改善が必要な方を対象にした教室のみを実施していたが、なかなか認知度が上がらなかった。今年度は対象を工夫して、一次予防事業の教室に出前講座という形での実施をしている。ロコミ等による広まりにも期待したい。また、教室等のPRは継続していくが、健康増進担当が実施している健診事業の中にも歯科相談などの場があることも紹介している。運動などは住民の興味も高いが、口腔はそこまでではないので、ぜひ進めていきたい。

委員：アンケート結果を見ると、一般高齢者の介護・介助は必要ないと回答している割合が8割近くということに驚いた。他の市町村と比べてどうなのか。富士川町は健康と言えるか。

事務局：他の市町村との比較はまだしていないので、これから検討したい。

委員：地域包括支援センターの役割の認知度は高くないが、利用していないとなかなかわからないと思う。

事務局：私たちスタッフとしては、まだこの程度かという驚きがあった。知識の普及が必要だが、チラシを入れるといった従来の方法では限界があると思うので、新しいやり方も取り入れながら、地域包括支援センターでの介護等の情報提供を継続して進めていく必要があると感じている。

委員：高齢者の方で体が弱くなった場合、家族が町内あるいは県内にいれば入院・入所についても協力してもらえる。アンケート結果では、介護・介助の必要性を感じていないというところがあるが、いざ介護等になった時に、非常に困る方が現実的には多い。そこまでの状況にならないと気が付かない。そうした状況になる前に高齢者の方に、柔らかい言葉で啓発していく工夫をしてもらえればと思う。

それから、周知の方法で回覧板や広報があるが、回覧板だと手間がかかるということで、なかなか案内を入れてもらえない。広報に載せればと言われるが、効果的なのは回覧板。広報は見ているようで、見過ごしてしまうこともある。広報活動についても、高齢者に対しては一工夫をお願いしたい。

事務局：社会福祉協議会とも連携を取りながら、対応していかなければならないと考えている。高齢者への情報提供に関しても、再検討してわかりやすく行っていきたい。

以上